

平成 20 年 11 月 28 日

各 位

会 社 名	セガサミーホールディングス株式会社
代 表 者 名	代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 里 見 治 (コード番号 6 4 6 0 東証第一部)
問 合 せ 先	執 行 役 員 秋 庭 孝 俊 (電話番号 0 3 - 6 2 1 5 - 9 9 5 5)

遊技機事業分野における事業再編に伴う
株式会社銀座との事業および資本提携の解消について

当社ならびに当社子会社であるサミー株式会社（本社：東京都豊島区、代表取締役社長 COO：中山圭史、以下「サミー」）は、平成 20 年 11 月 28 日開催の取締役会において、サミーの子会社である株式会社銀座（本社：愛知県瀬戸市、代表取締役社長：伊藤二博、以下「銀座」）との事業および資本提携を解消することについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 提携解消の理由

当社グループの収益軸である遊技機事業における経営環境は、平成 16 年 7 月に施行された「風営法施行規則等の改正」を受けて、大きな転換期を迎えました。

規則改正を受け、遊技性が大きく変化したパチスロ遊技機市場はホール・ユーザーから評価を得られるタイトルの供給が不足し、一部ホールではパチンコ遊技機に設置が切り替えられました。しかしながら、平成 20 年 3 月に「技術上の規格解釈基準」が一部改正され、エンタテインメント性をより高めた斬新なパチスロ遊技機の開発が可能となり、市場の活性化が期待されております。一方、パチンコ遊技機市場では規則改正により、多様なゲーム性を持った製品の開発・供給が可能となり、新基準機普及に伴う稼動の上昇を受けて入替が堅調に推移しております。パチンコホールにおいては、新基準機への移行に伴う投資負担増やパチスロ遊技機市場の厳しい環境を背景に、確実に高稼働が期待できる大手メーカーの主力タイトルに需要が集中する傾向が続いております。

当社グループはパチスロ遊技機事業においてサミー、ロデオ、銀座、タイヨーエレクトの 4 ブランド、パチンコ遊技機事業においてはサミー、銀座、タイヨーエレクトの 3 ブランドにて事業を展開してまいりました。しかしながら、このような環境下、遊技機市場において更なるシェア向上とグループ収益の最大化を実現するためには、収益性の高いサミーブランドに開発リソースをはじめとした経営資源の配分比率を高め、安定した主力タイトルの開発体制構築とブランド力の向上を図ることが最善であると考え、銀座との事業および資本提携を解消することを決定いたしました。

2. 譲渡の方法

当社が保有する銀座の全株式を銀座の代表取締役社長である伊藤二博氏に直接譲渡いたします。

3. 株式会社銀座の概要

- ① 商 号 株式会社銀座
- ② 本 店 所 在 地 愛知県瀬戸市山の田町 43 番地 436
- ③ 代 表 者 名 代表取締役社長 伊藤二博
- ④ 設 立 年 月 日 昭和 46 年 10 月 27 日
- ⑤ 事 業 内 容 パチンコ遊技機、パチスロ遊技機の開発、製造および販売
- ⑥ 決 算 期 3 月
- ⑦ 従 業 員 数 35 名
- ⑧ 資 本 金 1,000 万円
- ⑨ 発行済株式総数 200 株
- ⑩ 株主構成および
所 有 割 合 伊藤二博 102 株 (51%)
サミー株式会社 98 株 (49%)
- ⑪ 最近事業年度における業績動向

(千円)	平成 18 年 3 月期	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期
売 上 高	1,062,541	12,475,162	29,232,832
売上総利益	143,547	2,736,207	6,756,431
営 業 利 益	△169,207	42,712	306,204
経 常 利 益	△172,619	15,886	293,708
当期純利益	△122,062	12,464	△302,922
総 資 産	682,041	10,620,677	6,995,505
純 資 産	△70,332	△57,867	△360,789

4. 譲渡株式数および譲渡前後の所有株式数

- ① 譲渡前の所有株式数 98 株 (所有割合 49.0%)
- ② 譲 渡 株 式 数 98 株
- ③ 譲渡後の所有株式数 0 株 (所有割合 0.0%)

5. 日程

平成 20 年 11 月 28 日 取締役会決議
平成 20 年 11 月 28 日 合意書締結
平成 21 年 3 月 31 日 株券引渡し期日 (予定)

6. 今後の見通し

今回の発表は基本合意締結の段階であり、今後両社にて具体的条件を協議してまいります。今期、銀座ブランドとして販売を計画していた製品は計画通り販売を行なうことから、本件による今期通期業績に与える影響はございません。また既にサミーが銀座から開発を受託し、供給を決定している製品は、事業および資本提携の解消期日に関わらず供給いたします。

開発受託機種以降、サミーは銀座ブランド製品受託開発ラインを収益性の高いサミーブランド製品開発ラインへ移行するなど経営資源の再配置を行います。また、特にパチンコ遊技機事業分野において優れた開発力と確固たる市場シェアを保有し、平成 19 年 12 月に当社グループの連結対象子会社となったタイヨーエレクトリック株式会社 (本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：佐藤英理子) との間で開発・製造・販売等の面でより一層の協力体制を築き、差別化された遊技機の開発、更なるコストの削減、版権の有効活用、効果的な宣伝広告展開等、グループシナジーを追求し、シェア向上とグループ収益の最大化を図ります。

以上